

The Women's Studies Association of Japan

発行 日本女性学会
事務局 〒272-0023
千葉県市川市南八幡1-16-24
TEL 047-370-6068
FAX 047-370-5051
ホームページ
<http://www.joseigakkai-jp.org/index.htm>
頒価 一部300円

学会ニュース

日本女性学会
第133号 2015年2月

目次

次回大会予告……………	1	会員の著作……………	3
個人研究発表・ワークショップ募集について……………	1	日本女性学会2015年度 「少額研究活動支援」対象募集のお知らせ……………	3
大会シンポジウム……………	2		
研究会のご案内……………	3		

次回大会予告

会場：京都市男女共同参画センター ウィングス京都

京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町262

■地下鉄「烏丸御池」駅（5番出口）より徒歩約5分

■地下鉄「四条」駅・阪急「烏丸」駅（20番出口）より徒歩約5分

*宿泊は各自で手配して下さい。

京都市中心部、「四条烏丸」もしくは「京都駅」周辺のホテルが便利です。

詳しいアクセスは<http://www.wings-kyoto.jp/about-wings/access/>をご覧ください。

大会シンポジウム：

スポーツにおける男性性の解体：〈周辺〉からの試み

大会日程：5月16日（土）13時～16時30分（予定）

大会シンポジウム、その後総会、懇親会

5月17日（日）9時30分～15時（予定 昼食休憩を一時ほど含みます）

個人研究発表、ワークショップ

個人研究発表・ワークショップ募集について

タイトルと発表の概要（200字程度）・発表のカテゴリー（個人研究発表、パネル報告、ワークショップのいずれか）・発表時に使用する機材（希望にそえない場合もあります）を記載して**3月20日（金）24時**までに、ニュースレター担当の飯田祐子・西倉実季までメールでお知らせください。**受信トラブルを避けるため、兩名にお送り願います。**

ワークショップは、参加者との共同作業でテーマを発展させていく取り組みであり、個人研究発表とは性格の異なるものです。原則として複数の発表者がひとつの分科会全体（2時間程度）を担当していただきます。

個人研究発表はひとつの分科会で3、4人の方に発表をしていただきます。この組み合わせは通常応募状況に

よって幹事会で決め司会も幹事会から出しますが、あらかじめ共通テーマの方々3名以上が集まり、共同でパネル報告に応募していただくことも可能です。その場合、公平な各発表時間の配分と質問の時間を十分とることに留意いただき、テーマ、時間配分、司会者などを申込者が決めてからご応募ください。

■大学院生、非常勤講師等への旅費補助について

ワークショップ、個人研究発表をされる方で、学生、院生、OD等、常勤職についておられない方には、学会より旅費の補助を行います（総額10万円を人数と距離に応じて配分しますので、補助金額は未定です）。希望される方は、報告申込の際に、「旅費補助希望」と明記してください。

■大会におけるバリアフリー対応

大会におけるバリアフリー対応（手話通訳、文字通訳、配布物拡大コピー希望など）のご要望をおよせください。3月20日までに、庶務担当の小川真理子へお願いいたします。保育のご要望については、次号で詳細をご覧ください。

2015年大会シンポ趣旨

スポーツにおける男性性の解体：〈周辺〉からの試み

パネリスト：來田享子さん、風間孝さん、井谷恵子さん、亀井好恵さん
コーディネーター：合場敬子・堀江有里

趣旨説明

近年、スポーツ領域でのセクハラ問題や男女別カテゴリーで実施されているスポーツのあり方などに批判的な関心が集まっている。これは、スポーツが規範的な女性性や男性性、異性愛主義を再生産する強力な社会制度の一つであることに起因している。

近代スポーツは、よく知られているようにその誕生から男性性と強い結びつきを持ってきた。そのため、「男性性」とは異なる性質を持つべきであるとされた女性は、近代スポーツにおいては周辺におかれてきた。また男性同士の強いきずなが形成されてしまうスポーツでは、そのきずながセクシュアルなものではないことを強調するために、異性愛以外のセクシュアリティを抑圧してきた。

一方で、周辺化されてきた女性も多くの挑戦を通じて、近代スポーツに層として参加するようになってきた。女

性のスポーツ参加状況を見てみると、年齢によって差異が認められる。20歳代以上の成人女性では、運動・スポーツを全くやらない層と積極的に参加する層に二極化していることが指摘されている。他方、学校期の女性では、小学3、4年生ごろから運動離れが始まり、高校で顕在化することが明らかになっている。このように、一般女性とスポーツは複雑な関係にあることが推察される。

シンポジウムでは、一般女性や性的マイノリティなどの、スポーツの領域で周辺化されてきた存在が、男性性と深く結びついてきた近代スポーツを、どのように変容させることができるのかを模索したい。さらに、近代スポーツ以外の身体活動もジェンダーとの結びつきを持っているものが多い。男性性を象徴する身体活動に女性が参加することで、男性性や女性性をどのように揺るがすことができるかについても併せて議論したい。

研究会のご案内 2015 年大会シンポジウム プレ研究会

大会シンポジウムのパネリストにおいでいただき、シンポジウムに向けた準備の研究会を開催します。どなたでも参加できます。資料等準備の都合上、参加希望者はなるべく事前に研究会担当幹事までメールでご連絡ください。

日時：2015 年 3 月 8 日 (日) 13 時～15 時

場所：お茶の水女子大学

本館 1 階カンファレンスルーム (135)

所在地：東京都文京区大塚 2-1-1

■東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩 7 分

■東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩 8 分

■都営バス「大塚二丁目」停留所下車徒歩 1 分

詳しいアクセスは、下記のサイトをご覧ください。

<http://www.ocha.ac.jp/access/index.html>

研究会担当：清末愛砂

会員の著作

- 河上婦志子『二十世紀の女性教師：周辺化圧力に抗して』御茶の水書房、2014 年
- 林香里・谷岡理香編『テレビ報道職のワーク・ライフ・アンバランス：13 局男女 30 人の聞き取り調査から』大月書店、2013 年（林香里、北出真紀恵、松浦さと子など 15 名による共著書）
- 速水ユウ（速水裕子）『派遣ナースのコミカルなお仕事』メディアポート、2014 年

会員の著作紹介

以下のルールで会員のみなさまの著作を紹介します。掲載ご希望の方は、ニュースレター担当者までご連絡ください。

- ・ 会員が執筆・編集している単行本（分担執筆含む、雑誌をのぞく）
- ・ 1 年以内の発行物
- ・ ご本人の申し出があったもの
- ・ 寄贈は条件としない
- ・ 寄贈いただいたもので会員の著作と判明したもの
ニュースレター担当

飯田祐子
西倉実季

日本女性学会 2015 年度 「少額研究活動支援」対象者募集のお知らせ

日本女性学会では、常勤ないし正規雇用契約をもたず、研究財源の確保に困難をかかえている会員の研究活動を支援することを目的に、「少額研究活動支援」を創設しました（2011 年度総会承認）。要件に該当する会員を対象に、研究活動支援金を支給します。下記の通り、2015 年度の支給対象者を募集します。ささやかな活動ですが、ぜひ活用ください。

記

内 容 対象者の日本女性学会の趣旨に沿った活動に対し、1 人あたり 3 万円の研究活動支援金を支給する

対 象 2015 年度 4 月 1 日以降に常勤ないし正規雇用契約をもたない会員 10 名

応募要件

- (1) 前年度までの会費が納入されていること
- (2) 日本女性学会会員の会費区分 6000 円の者
- (3) 常勤ないし正規雇用契約下でないこと
- (4) 日本学術振興会特別研究員でないこと

応募方法 日本女性学会ウェブサイト に備える応募用紙により日本女性学会事務局宛郵送

応募締切 2015 年 4 月 30 日 (木) 着分まで

詳細および様式 日本女性学会ウェブサイト「会員のページ」 <http://www.joseigakkai-jp.org/index.php?p=9>